

今井地区文化財委員会 案内板の建替え・新設

今井地区文化財委員会（原勝美委員長）では、地区の文化財保護、活用の一環として、地区内の文化財や史跡等に設置されている案内板の建替え、新設を行っています。

このたび傷みの激しかった案内板2カ所の建替えと、1カ所の新設が行われましたので簡単ではありますがご紹介します。

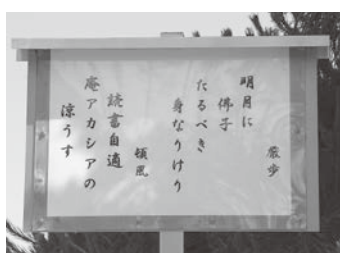


No.348

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004



3 頓風・巖歩の句碑 (建替え)



頓風は上條蛸司（公民館報令和2年5月号参照）の俳号。巖歩は高弟である村山岩一の俳号。昭和46年建立。

今井地区文化財委員会では、地区の皆さんに今井の文化財を身近に学んでもらえるよう、「文化財ウォーキングマップ」の制作も計画しています。

2 十王堂跡 (建替え)



創建年代も廃滅の年代も不明ですが、古絵図によると東耕地の火の見櫓の西にあったようです。

※十王堂…十王様をお祀りしている御堂。十王とは、閻魔（えんま）大王をはじめとする冥土で死者の罪を裁く十人の判官のこと。十王信仰では、遺族などが善行を積み供養することで、死者の罪が軽くなるとされていました。

1 清水巡査頭彰句碑



かつて、上水道敷設を渴望する下今井と水利権を主張する上今井は村内で激しい論戦を繰り広げていました。それを仲裁し、近隣地区に先駆け上水道敷設（大正13年起工、同15年竣工）の功労者清水力巡査を称えた碑（昭和55建立）です。

ふれあい健康教室再開

6月11日(木)、福祉ひろば行事のふれあい健康教室が3カ月ぶりに再開されました。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今井公民館の大会議室で参加者同士の間隔をあけて体操教室が行われました。地元在住の健康運動指導士・小林美穂さんの指導のもと、約30名が元気づく体を動かし、運動不足を解消しました。

椅子に座りながらできる筋力トレーニングや柔軟体操を教わり、参加者は音楽に合わせて楽しく取り組んでいました。

今後も、今回のように三密を避ける工夫をしながら続けていけたらと思います。



龍が出現!



下今井のJA果実共選所前にある山の神社跡(下区諏訪神社管理)に立つ一本の松に「龍」が出現し話題となつています。

4月に枝の手入れをした際に確認され、大きく口を開いて睨みつけるような形相は、今人々を苦しめている新型コロナウイルスを威嚇しているかのようでもあり、下区長の古田良樹さんは「山の神の赤松と呼ばれるこの巨木を大切に守っていききたい。コロナウイルスも早く退散してほしい」と話しています。



No.280

「想定外」

清澤由香里
(南耕地)

『なんにもなくなっちゃったね...』

3月初め新型コロナウイルス感染症拡大の中、今年小学校を卒業した娘の発言、胸に強く突き刺さった。

感染が拡大していく中、人生初の卒業式は規模縮小、娘の卒業式で挨拶するのを目標にPTA活動を頑張っていた



会議を開催した。

『コロナに影響受けずに出来る思い出作りは何?』

いろいろな案は出たが主人の発案で、これから毎日自転車

行事の中止

◆第35回支部対抗球技大会

多くの参加者が見込まれ、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策が十分にとれない可能性があるので、開催までに多数の役員による会議を複数回開催する必要があることなどから、やむなく中止を決定いたしました。

◆第26回今井ドンパン夏祭り

地区内外から不特定多数が集まるイベントであることや、地区住民、団体、企業からの寄付を主な財源としていることなどから、実行委員会の書面表決で中止を決定いたしました。

主人は式に不参加、春休みに仲良しチームで計画していた卒業旅行は中止、苦勞してチケットを確保した従妹の吹奏

楽コンサー

トも中止、さすがに家族全員ふさがちだったので家族

4月は主人も仕事が忙しいということでGWに決行、位置を決め、みんなで材料を切り、屋根が上がり壁を作ってきたので家族

2月中旬末の娘里帰り出産のため帰省。新型コロナウイルスで病院は厳戒態勢。出産の立ち会いはもちろん病室への出入りも一切禁止とのこと。予定日は4月中頃。施設へのボランティアは自分の間無理のようだ。唄のサークルも休止。俳句の会は紙上句会を行うことに。「不要不急の外出は控えるように!」の言葉が飛び交う。3月コロナに負けじと家族揃ってとんかつ屋へ。生協の注文欠品やひとり一点の注文が目立つ。甥っ子の結婚式が予定通り行われる。よくぞ決断! 4月娘のお腹破裂しそう。好物のスコーン作り。食欲旺盛で「安心! ウエツトティッシュを店頭に見つけ興奮! 立体マスク作りに挑戦、結構いける!」41週に入り入院、三日目無事出産。桜満開、ひとりで頑張った娘に母は涙。病院のスタッフの皆さんに感謝! 感謝! ばあばの奮闘が始まる! 5月マスクがやっと店頭並ぶ。もちろんゲット! 50枚入り三千円に主人は笑っている! 6月娘と孫が帰京。毎日送られてくる動画に元気をもらう。7月畑は青々としている。8月「コロナはしぶとい。付き合っていくしかないのか。」(S・H)